

2025年 8 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕（連結）



2025年 7 月15日  
東

上 場 会 社 名 株式会社アスタリスク 上場取引所  
コ ー ド 番 号 6522 URL https://asx.co.jp  
代 表 者 （役職名） 代表取締役執行役員社長 （氏名） 鈴木 規之  
問合せ先責任者 （役職名） 取締役執行役員管理統括室長 （氏名） 山本 和矢 （TEL） 050-5838-7864  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2025年 8 月期第 3 四半期の連結業績（2024年 9 月 1 日～2025年 5 月31日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年同四半期増減率）

|                   | 売上高   |      | 営業利益 |   | 経常利益 |   | 親会社株主に帰属<br>する四半期純利益 |   |
|-------------------|-------|------|------|---|------|---|----------------------|---|
|                   | 百万円   | %    | 百万円  | % | 百万円  | % | 百万円                  | % |
| 2025年 8 月期第 3 四半期 | 1,304 | 17.8 | △46  | — | △62  | — | △66                  | — |
| 2024年 8 月期第 3 四半期 | 1,107 | △9.8 | △238 | — | △192 | — | △371                 | — |

（注）包括利益 2025年 8 月期第 3 四半期 △37百万円（ —％） 2024年 8 月期第 3 四半期 △369百万円（ —％）

|                   | 1株当たり<br>四半期純利益 | 潜在株式調整後<br>1株当たり<br>四半期純利益 |
|-------------------|-----------------|----------------------------|
|                   | 円 銭             | 円 銭                        |
| 2025年 8 月期第 3 四半期 | △9.08           | —                          |
| 2024年 8 月期第 3 四半期 | △52.32          | —                          |

（2）連結財政状態

|                   | 総資産   | 純資産   | 自己資本比率 |
|-------------------|-------|-------|--------|
|                   | 百万円   | 百万円   | %      |
| 2025年 8 月期第 3 四半期 | 2,888 | 1,857 | 64.3   |
| 2024年 8 月期        | 2,657 | 1,539 | 57.9   |

（参考）自己資本 2025年 8 月期第 3 四半期 1,856百万円 2024年 8 月期 1,539百万円

2. 配当の状況

|                | 年間配当金    |          |          |      |      |
|----------------|----------|----------|----------|------|------|
|                | 第 1 四半期末 | 第 2 四半期末 | 第 3 四半期末 | 期末   | 合計   |
|                | 円 銭      | 円 銭      | 円 銭      | 円 銭  | 円 銭  |
| 2024年 8 月期     | —        | 0.00     | —        | 0.00 | 0.00 |
| 2025年 8 月期     | —        | 0.00     | —        |      |      |
| 2025年 8 月期（予想） |          |          |          | 0.00 | 0.00 |

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年 8 月期の連結業績予想（2024年 9 月 1 日～2025年 8 月31日）

（％表示は、対前期増減率）

|    | 売上高   |      | 営業利益 |   | 経常利益 |   | 親会社株主に帰属<br>する当期純利益 |   | 1株当たり<br>当期純利益 |
|----|-------|------|------|---|------|---|---------------------|---|----------------|
|    | 百万円   | %    | 百万円  | % | 百万円  | % | 百万円                 | % | 円 銭            |
| 通期 | 2,200 | 39.4 | 50   | — | 39   | — | 15                  | — | 2.03           |

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

|            |            |            |            |
|------------|------------|------------|------------|
| 2025年8月期3Q | 7,796,800株 | 2024年8月期   | 7,113,400株 |
| 2025年8月期3Q | 70株        | 2024年8月期   | 70株        |
| 2025年8月期3Q | 7,364,310株 | 2024年8月期3Q | 7,109,386株 |

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 有(任意)

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

|                                    |    |
|------------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....           | 2  |
| (1) 経営成績に関する説明 .....               | 2  |
| (2) 財政状態に関する説明 .....               | 3  |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....    | 3  |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....           | 4  |
| (1) 四半期連結貸借対照表 .....               | 4  |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 ..... | 6  |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....        | 8  |
| (継続企業の前提に関する注記) .....              | 8  |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....     | 8  |
| (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....    | 8  |
| (会計方針の変更) .....                    | 8  |
| (セグメント情報等の注記) .....                | 9  |
| (キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....         | 10 |
| 独立監査人の四半期連結財務諸表に対する期中レビュー報告書 ..... | 11 |

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用環境の改善に基づく国内個人消費や海外からのインバウンド消費による回復基調が維持されました。しかし、国内においては政策金利の上昇、海外においては米国の経済政策の大幅な変更やその影響への警戒感が要因となり、為替市場を中心に不透明な状況が続いております。このような環境の下、当社グループは、「事業計画及び成長可能性に関する事項について記載した書面」に記載のとおり、次の成長戦略を実行してまいりました。

#### (既存主力事業)

スマートフォン装着型リーダーの優位性を市場に積極的に発信し、顧客への認知を高める取り組みを進めています。この技術の利点を明確に伝え、従来の専用機からの移行を促進しています。

システム開発においては、新たに小売業界向けの賞味期限管理システムの受注を獲得しました。このシステムは、小売業界における重要なニーズに応えるものであり、今後の成長に大きく寄与するものと考えております。

#### (新製品の開発／販売)

顔認証技術やリニアモーター技術を活用した新製品の開発・販売を推進しております。

当第3四半期連結会計期間においては、顔認証技術の実証実験を行っている店舗をリニューアルし、リニア搬送ロボットの実証実験も同時に実施可能な環境を整備いたしました。これにより、両技術を活用した省人化・効率化ソリューションの早期実用化を目指してまいります。

また、スマートフォンのカメラで高速かつ一括読み取りが可能な、当社独自の二次元コード「AsCode」の開発も進行中です。物流・小売分野における業務効率化を実現する技術として、今後の事業展開を見据えながら開発を進めております。

さらに、前連結会計年度に開発したOCRとバーコードを活用した賞味・消費期限管理アプリ「Sdc0(エスデコ)」について、小売店舗への導入が実現いたしました。現場での運用を通じて、省力化や食品ロス削減に貢献するソリューションとして、今後さらに販路拡大を図ってまいります。

#### (営業力の強化)

大手キャリア様との協業体制を強化し、継続して案件の御紹介を受けるとともに、新規受注の拡大を目指しております。また、その他の営業活動手法の検討を進めております。

#### (海外展開)

当第3四半期連結会計期間においては、大口案件の獲得に至らなかったものの、いくつかの新規大口案件の商談が進展しています。これらの商談を着実に前進させ、新規大口案件の獲得に向けた営業活動を積極的に展開してまいります。

以上の取り組みの結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高1,304,931千円(前年同期比17.8%増)、営業損失46,670千円、(前年同期は238,960千円の営業損失)、経常損失62,585千円(前年同期は192,991千円の経常損失)、親会社株主に帰属する四半期純損失66,840千円(前年同期は371,937千円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### ①AsReader事業

AsReader事業の連結売上高は1,090,591千円(前年同期比21.5%増)、セグメント利益は92,299千円(前年同期は110,389千円のセグメント損失)となりました。当社主力商品である「AsReader」の販売では、国内向けでは、自動販売機業界、製造業界、卸売・小売業界、医療業界への販売が順調に進捗しました。一方で海外向けでは、飲料メーカーへの追加納入がありましたが、販売が計画より遅延している案件が発生しております。また、顔認証技術をはじめとした新商品開発に関する費用、顔認証レジの実証店舗運営に関する費用は継続して発生しております。以上により、前年同期に比べ売上高は増加、セグメント利益を確保する結果となりました。

## ②システムインテグレーション事業

システムインテグレーション事業の連結売上高は204,885千円(前年同期比1.6%増)、セグメント損失は7,449千円(前年同期は3,028千円のセグメント利益)となりました。物流業界向け、小売業界向け、医療業界向けなどのシステム開発の納入、製造業界、小売業界、食品業界、IT・通信業界及び不動産業界向けのシステム開発受注がありました。また、前連結会計年度にリリースした期限管理アプリの販売が始まり、当連結会計期間において受注がありました。一方で、一部案件において進捗の遅れが発生、さらに不採算案件に関して当第3四半期連結会計期間に追加で受注損失引当金を計上したため、採算が悪化しました。以上により、売上高は堅調に推移したものの、セグメント損失が発生する結果となりました。

## ③賃貸事業

賃貸事業の連結売上高は9,455千円(前年同期比9.9%増)、セグメント利益は1,433千円(前年同期比6.4%増)となりました。

当社の本社兼研究所である「AsTech Osaka Building」は、大阪市が定める特別用途地区(中高層階住居専用地区)に所在していることから、同建物の7階から9階の3フロアを住居として賃貸しております。当第3四半期連結会計期間末において入居率は100%となっております。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、2,888,146千円となり、前連結会計年度末の2,657,236千円と比べ、230,909千円の増加となりました。主な要因は、現金及び預金の増加516,884千円、有形固定資産の減少19,188千円、商品及び製品の減少84,722千円、売掛金及び契約資産の減少201,427千円によるものです。

## (負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、1,030,768千円となり、前連結会計年度末の1,117,939千円と比べ87,170千円の減少となりました。その主な要因は、賞与引当金の減少7,397千円、長期借入金の減少14,994千円、短期借入金の減少15,000千円、買掛金の減少43,655千円によるものです。

## (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、1,857,377千円となり、前連結会計年度末の1,539,297千円と比べ318,080千円の増加となりました。その主な要因は、資本金の増加177,422千円、資本準備金の増加177,422千円、為替換算調整勘定の増加29,273千円、利益剰余金の減少66,840千円によるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間の業績等を踏まえ検討を行いました。2025年4月14日に公表いたしました「2025年8月期 第2四半期連結累計期間の連結業績予想と実績の差異ならびに通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」に記載の通期の連結業績予想からの変更はございません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

|               | 前連結会計年度<br>(2024年8月31日) | 当第3四半期連結会計期間<br>(2025年5月31日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部          |                         |                              |
| 流動資産          |                         |                              |
| 現金及び預金        | 467,291                 | 984,176                      |
| 売掛金及び契約資産     | 388,748                 | 187,320                      |
| 商品及び製品        | 574,685                 | 489,962                      |
| 原材料及び貯蔵品      | 39,049                  | 43,607                       |
| 未収還付法人税等      | 2                       | —                            |
| その他           | 65,582                  | 85,381                       |
| 貸倒引当金         | △3,156                  | △1,529                       |
| 流動資産合計        | 1,532,202               | 1,788,918                    |
| 固定資産          |                         |                              |
| 有形固定資産        |                         |                              |
| 建物            | 484,953                 | 484,953                      |
| 減価償却累計額       | △16,165                 | △23,439                      |
| 建物（純額）        | 468,788                 | 461,514                      |
| 建物附属設備        | 167,501                 | 167,501                      |
| 減価償却累計額       | △20,538                 | △29,954                      |
| 建物附属設備（純額）    | 146,963                 | 137,547                      |
| 構築物           | 18,651                  | 18,651                       |
| 減価償却累計額       | △1,708                  | △2,532                       |
| 構築物（純額）       | 16,943                  | 16,119                       |
| 車両運搬具         | 641                     | 641                          |
| 減価償却累計額       | △641                    | △641                         |
| 車両運搬具（純額）     | 0                       | 0                            |
| 工具、器具及び備品     | 197,073                 | 206,037                      |
| 減価償却累計額       | △166,938                | △177,576                     |
| 工具、器具及び備品（純額） | 30,134                  | 28,460                       |
| 土地            | 292,589                 | 292,589                      |
| 有形固定資産合計      | 955,419                 | 936,231                      |
| 無形固定資産        | 31,522                  | 28,400                       |
| 投資その他の資産      |                         |                              |
| 投資有価証券        | 101,250                 | 101,250                      |
| 繰延税金資産        | 1,015                   | 1,015                        |
| その他           | 35,826                  | 32,330                       |
| 投資その他の資産合計    | 138,092                 | 134,596                      |
| 固定資産合計        | 1,125,034               | 1,099,227                    |
| 資産合計          | 2,657,236               | 2,888,146                    |

(単位：千円)

|               | 前連結会計年度<br>(2024年8月31日) | 当第3四半期連結会計期間<br>(2025年5月31日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| <b>負債の部</b>   |                         |                              |
| 流動負債          |                         |                              |
| 買掛金           | 99,828                  | 56,172                       |
| 短期借入金         | 665,000                 | 650,000                      |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 21,658                  | 21,658                       |
| 未払法人税等        | 57,933                  | 58,235                       |
| 賞与引当金         | 29,150                  | 21,753                       |
| 製品保証引当金       | 3,751                   | 1,152                        |
| 受注損失引当金       | 6,770                   | 4,081                        |
| その他           | 148,031                 | 147,069                      |
| 流動負債合計        | 1,032,124               | 960,122                      |
| 固定負債          |                         |                              |
| 長期借入金         | 70,012                  | 55,018                       |
| 資産除去債務        | 1,543                   | 1,543                        |
| 繰延税金負債        | 11,817                  | 11,817                       |
| その他           | 2,441                   | 2,266                        |
| 固定負債合計        | 85,814                  | 70,645                       |
| 負債合計          | 1,117,939               | 1,030,768                    |
| <b>純資産の部</b>  |                         |                              |
| 株主資本          |                         |                              |
| 資本金           | 806,087                 | 983,510                      |
| 資本剰余金         | 796,087                 | 973,510                      |
| 利益剰余金         | △58,182                 | △125,023                     |
| 自己株式          | △44                     | △44                          |
| 株主資本合計        | 1,543,947               | 1,831,952                    |
| その他の包括利益累計額   |                         |                              |
| 為替換算調整勘定      | △4,650                  | 24,622                       |
| その他の包括利益累計額合計 | △4,650                  | 24,622                       |
| 新株予約権         | —                       | 803                          |
| 純資産合計         | 1,539,297               | 1,857,377                    |
| 負債純資産合計       | 2,657,236               | 2,888,146                    |

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

|                     | 前第3四半期連結累計期間<br>(自 2023年9月1日<br>至 2024年5月31日) | 当第3四半期連結累計期間<br>(自 2024年9月1日<br>至 2025年5月31日) |
|---------------------|-----------------------------------------------|-----------------------------------------------|
| 売上高                 | 1,107,727                                     | 1,304,931                                     |
| 売上原価                | 791,098                                       | 795,366                                       |
| 売上総利益               | 316,629                                       | 509,564                                       |
| 販売費及び一般管理費          | 555,589                                       | 556,235                                       |
| 営業損失(△)             | △238,960                                      | △46,670                                       |
| 営業外収益               |                                               |                                               |
| 受取利息及び配当金           | 87                                            | 242                                           |
| 貸倒引当金戻入額            | 1,097                                         | —                                             |
| 雑収入                 | 2,948                                         | 64                                            |
| 為替差益                | 44,407                                        | —                                             |
| 営業外収益合計             | 48,541                                        | 307                                           |
| 営業外費用               |                                               |                                               |
| 支払利息                | 2,385                                         | 4,766                                         |
| 貸倒引当金繰入額            | —                                             | 2                                             |
| 雑支出                 | 188                                           | 397                                           |
| 為替差損                | —                                             | 11,056                                        |
| 営業外費用合計             | 2,573                                         | 16,222                                        |
| 経常損失(△)             | △192,991                                      | △62,585                                       |
| 特別利益                |                                               |                                               |
| 補助金収入               | 37                                            | 19                                            |
| 受取保険金               | 30                                            | —                                             |
| 特別利益合計              | 67                                            | 19                                            |
| 特別損失                |                                               |                                               |
| 固定資産除却損             | —                                             | 44                                            |
| 投資有価証券評価損           | 103,999                                       | —                                             |
| 特別損失合計              | 103,999                                       | 44                                            |
| 税金等調整前四半期純損失(△)     | △296,923                                      | △62,609                                       |
| 法人税、住民税及び事業税        | 5,756                                         | 4,230                                         |
| 法人税等調整額             | 69,257                                        | —                                             |
| 法人税等合計              | 75,013                                        | 4,230                                         |
| 四半期純損失(△)           | △371,937                                      | △66,840                                       |
| 親会社株主に帰属する四半期純損失(△) | △371,937                                      | △66,840                                       |

## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

|                 | 前第3四半期連結累計期間<br>(自 2023年9月1日<br>至 2024年5月31日) | 当第3四半期連結累計期間<br>(自 2024年9月1日<br>至 2025年5月31日) |
|-----------------|-----------------------------------------------|-----------------------------------------------|
| 四半期純損失(△)       | △371,937                                      | △66,840                                       |
| その他の包括利益        |                                               |                                               |
| 為替換算調整勘定        | 2,907                                         | 29,273                                        |
| その他の包括利益合計      | 2,907                                         | 29,273                                        |
| 四半期包括利益         | △369,030                                      | △37,567                                       |
| (内訳)            |                                               |                                               |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | △369,030                                      | △37,567                                       |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | —                                             | —                                             |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間(自 2023年9月1日 至 2024年5月31日)

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2024年9月1日 至 2025年5月31日)

株主資本の金額の著しい変動

当第3四半期連結累計期間において、2025年1月6日、2025年1月7日及び2025年5月14日付のEVO FUNDからの第三者割当増資による新株予約権の行使、及び当社従業員からのストック・オプションによる新株予約権の行使に伴い、資本金及び資本準備金がそれぞれ177,422千円増加しております。この結果、当第3四半期連結会計期間末において資本金が983,510千円及び資本剰余金が973,510千円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しています。法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っています。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しています。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっています。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2023年9月1日 至 2024年5月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 千円)

|                       | 報告セグメント        |                         |       |           | 合計        | 調整額<br>(注) 1 | 四半期連結<br>損益計算書<br>計上額<br>(注) 2 |
|-----------------------|----------------|-------------------------|-------|-----------|-----------|--------------|--------------------------------|
|                       | AsReader<br>事業 | システムイン<br>テグレーション<br>事業 | 賃貸事業  | 計         |           |              |                                |
| 売上高                   |                |                         |       |           |           |              |                                |
| 日本                    | 840,124        | 189,545                 | —     | 1,029,670 | 1,029,670 | —            | 1,029,670                      |
| アメリカ                  | 53,437         | —                       | —     | 53,437    | 53,437    | —            | 53,437                         |
| その他                   | 3,803          | 12,209                  | —     | 16,012    | 16,012    | —            | 16,012                         |
| 顧客との契約から生じる収益         | 897,365        | 201,754                 | —     | 1,099,120 | 1,099,120 | —            | 1,099,120                      |
| その他の収益 (注) 3          | —              | —                       | 8,606 | 8,606     | 8,606     | —            | 8,606                          |
| 外部顧客への売上高             | 897,365        | 201,754                 | 8,606 | 1,107,727 | 1,107,727 | —            | 1,107,727                      |
| セグメント間の内部売上高<br>又は振替高 | —              | —                       | —     | —         | —         | —            | —                              |
| 計                     | 897,365        | 201,754                 | 8,606 | 1,107,727 | 1,107,727 | —            | 1,107,727                      |
| セグメント利益又は損失<br>(△)    | △110,389       | 3,028                   | 1,346 | △106,013  | △106,013  | △132,946     | △238,960                       |

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、各報告セグメントに帰属しない全社費用、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

3. その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」の範囲に含まれる不動産賃貸収入等であります。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2024年9月1日 至 2025年5月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 千円)

|                       | 報告セグメント        |                         |       |           | 合計        | 調整額<br>(注) 1 | 四半期連結<br>損益計算書<br>計上額<br>(注) 2 |
|-----------------------|----------------|-------------------------|-------|-----------|-----------|--------------|--------------------------------|
|                       | AsReader<br>事業 | システムイン<br>テグレーション<br>事業 | 賃貸事業  | 計         |           |              |                                |
| 売上高                   |                |                         |       |           |           |              |                                |
| 日本                    | 973,189        | 204,701                 | —     | 1,177,891 | 1,177,891 | —            | 1,177,891                      |
| アメリカ                  | 111,381        | —                       | —     | 111,381   | 111,381   | —            | 111,381                        |
| その他                   | 6,020          | 183                     | —     | 6,204     | 6,204     | —            | 6,204                          |
| 顧客との契約から生じる収益         | 1,090,591      | 204,885                 | —     | 1,295,476 | 1,295,476 | —            | 1,295,476                      |
| その他の収益 (注) 3          | —              | —                       | 9,455 | 9,455     | 9,455     | —            | 9,455                          |
| 外部顧客への売上高             | 1,090,591      | 204,885                 | 9,455 | 1,304,931 | 1,304,931 | —            | 1,304,931                      |
| セグメント間の内部売上高<br>又は振替高 | —              | —                       | —     | —         | —         | —            | —                              |
| 計                     | 1,090,591      | 204,885                 | 9,455 | 1,304,931 | 1,304,931 | —            | 1,304,931                      |
| セグメント利益又は損失<br>(△)    | 92,299         | △7,449                  | 1,433 | 86,283    | 86,283    | △132,953     | △46,670                        |

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、各報告セグメントに帰属しない全社費用、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

3. その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」の範囲に含まれる不動産賃貸収入等であります。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

|       | 前第3四半期連結累計期間<br>(自 2023年9月1日<br>至 2024年5月31日) | 当第3四半期連結累計期間<br>(自 2024年9月1日<br>至 2025年5月31日) |
|-------|-----------------------------------------------|-----------------------------------------------|
| 減価償却費 | 48,263千円                                      | 40,018千円                                      |

## 独立監査人の四半期連結財務諸表に対する期中レビュー報告書

2025年7月14日

株式会社アスタリスク

取締役会 御中

海南監査法人

大阪事務所

指定社員  
業務執行社員

公認会計士 坂 東 和 宏

指定社員  
業務執行社員

公認会計士 中 須 賀 高 典

## 監査人の結論

当監査法人は、四半期決算短信の「添付資料」に掲げられている株式会社アスタリスクの2024年9月1日から2025年8月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（2025年3月1日から2025年5月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（2024年9月1日から2025年5月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について期中レビューを行った。

当監査法人が実施した期中レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、株式会社東京証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項及び我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準（ただし、四半期財務諸表等の作成基準第4条第2項に定める記載の省略が適用されている。）に準拠して作成されていないと信じさせる事項が全ての重要な点において認められなかった。

## 監査人の結論の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる期中レビューの基準に準拠して期中レビューを行った。期中レビューの基準における当監査法人の責任は、「四半期連結財務諸表の期中レビューにおける監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社及び連結子会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

## 四半期連結財務諸表に対する経営者及び監査等委員会の責任

経営者の責任は、株式会社東京証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項及び我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準（ただし、四半期財務諸表等の作成基準第4条第2項に定める記載の省略が適用されている。）に準拠して四半期連結財務諸表を作成することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

四半期連結財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき四半期連結財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、株式会社東京証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項及び我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準（ただし、四半期財務諸表等の作成基準第4条第2項に定める記載の省略が適用されている。）に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査等委員会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

## 四半期連結財務諸表の期中レビューにおける監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した期中レビューに基づいて、期中レビュー報告書において独立の立場から四半期連

結財務諸表に対する結論を表明することにある。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる期中レビューの基準に従って、期中レビューの過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対する質問、分析的手続その他の期中レビュー手続を実施する。期中レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。
- ・ 継続企業の前提に関する事項について、重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められると判断した場合には、入手した証拠に基づき、四半期連結財務諸表において、株式会社東京証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項及び我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準（ただし、四半期財務諸表等の作成基準第4条第2項に定める記載の省略が適用されている。）に準拠して作成されていないと信じさせる事項が認められないかどうか結論付ける。また、継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、期中レビュー報告書において四半期連結財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する四半期連結財務諸表の注記事項が適切でない場合は、四半期連結財務諸表に対して限定付結論又は否定的結論を表明することが求められている。監査人の結論は、期中レビュー報告書日までに入手した証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 四半期連結財務諸表の表示及び注記事項が、株式会社東京証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項及び我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準（ただし、四半期財務諸表等の作成基準第4条第2項に定める記載の省略が適用されている。）に準拠して作成されていないと信じさせる事項が認められないかどうかを評価する。
- ・ 四半期連結財務諸表に対する結論表明の基礎となる、会社及び連結子会社の財務情報に関する証拠を入手する。監査人は、四半期連結財務諸表の期中レビューに関する指揮、監督及び査閲に関して責任がある。監査人は、単独で監査人の結論に対して責任を負う。

監査人は、監査等委員会に対して、計画した期中レビューの範囲とその実施時期、期中レビュー上の重要な発見事項について報告を行う。

監査人は、監査等委員会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去するための対応策を講じている場合又は阻害要因を許容可能な水準にまで軽減するためのセーフガードを適用している場合はその内容について報告を行う。

#### 利害関係

会社及び連結子会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

（注） 1． 上記の期中レビュー報告書の原本は当社（四半期決算短信開示会社）が別途保管しております。

2． XBRLデータは期中レビューの対象には含まれていません。